

デンカレポート

2017

サイトレポート

CONTENTS

- 2 青海工場
- 4 大牟田工場
- 6 千葉工場
- 8 渋川工場
- 10 大船工場
- 12 伊勢崎工場
- 14 デンカイノベーションセンター
- 16 メルバウ工場(デンカシンガポール プライベートリミテッド)
- 17 セラヤ工場(デンカシンガポール プライベートリミテッド)
- 18 トアス工場(デンカアドバンテック プライベートリミテッド)
- 19 サウス工場(デンカアドバンテック プライベートリミテッド)
- 20 デンカアドバンストマテリアルズ ベトナム カンパニーリミテッド
- 21 デンカインフラストラクチャー マレーシア スンディリアンブルハド
- 22 電化精細材料(蘇州)有限公司
- 23 電化新材料開発(蘇州)有限公司
- 24 電化無機材料(天津)有限公司
- 25 電化電子材料(大連)有限公司
- 26 デンカパフォーマンスエラストマー エルエルシー
- 27 アイコンジェネティクス ゲーエムベーハー
- 28 デンカポリマー株式会社
- 29 デンカ生研株式会社
- 30 シー・アール・ケイ株式会社
- 31 日之出化学工業株式会社
- 32 デンカアツミン株式会社
- 33 環境パフォーマンス



事業所概要

工場概要 大牟田工場は1916年に当社として最初に建設された工場です。カーバイド、石灰窒素の製造からスタートし、無機化学品の製造拠点として独自の電炉技術、高温制御技術、窒化技術をベースにユニークな製品を数多く生み出してきました。現在は、ファインセラミックス、電子材料領域の事業を強化しています。エレクトロニクス、自動車産業等、幅広い産業の発展に貢献していきます。

主要製品

- インフラ・ソーショナルソリューション部門/カルシウムカーバイド、石灰窒素、鉄鋼用耐火物、アルミナセメント、特殊混和材
- エラストマー・機能樹脂部門/アセチレンブラック
- 電子・先端プロダクツ部門/熔融シリカファイバー、球状アルミナ、窒化けい素、窒化ほう素、セラミックス系電子回路基板、電子部品用放熱シート、セラミックス複合体、LED用蛍光体

所在地 福岡県大牟田市新開町1 Tel.0944-52-1055
従業員数 591名(2017年3月31日現在)

トップメッセージ

大牟田工場は、デンカの祖業であるカーバイド・石灰窒素をはじめとする無機製品と、変化が早く高い性能を求められる電子材料製品の両方を生産するとてもユニークで大変特徴のある工場であります。私たちは、先人の高い技術力と丁寧な仕事ぶりを感じながら、日々仕事に取り組んでいます。この大切な伝統を守りつつ、新たな要素を積極的に取り入れて、次の世代にこの工場を手渡していくために、安全・保安の確保、安心して働ける明るい職場づくり、近隣社会との調和、地球環境への配慮と、特長ある新製品開発を通じて、社会発展に貢献し、社会から信頼される企業になるべく私たちは、誠意とチャレンジ精神をもって、日々努力してまいります。



執行役員 大牟田工場長
高橋 和男

CSR方針 | 工場長方針

① 新しい大牟田工場を目指し、新たな「業務プロセス改革」に果敢に挑戦します。

1. あるべき姿は「持続可能」な姿である。「先の先」を想定し「持続可能」な姿を目指す。
2. 一人ひとりが「全体感を持ち一人称で取り組む」気持ちを持ちながら、行動する時には協力会社も含め、全員が気持ちをひとつにして「組織的」に動く。
3. 「安全最優先」は「人」を第一に考えること、具現化には多方面から取り組む。
4. 「生産プロセス」と「業務プロセス」の改革を推進し、製品力と現場力を強化する。

② 研究開発は時間軸を明確にし、お客様と一緒に進めます。

1. お客様の必要とするモノと時期を知るため、市場との接点を強化する。
2. お客様へ新たな「感動」を届けるため、新規技術開発と知財戦略を推進する。

③ 「環境」に配慮し、「安全」優先の明るい職場をつくります。

1. 管理職も現場の作業者も、それぞれの立場と持ち場で、以下の項目を「徹底」する。
管理職は次の3つを実施する。
・自職場の活動が法的規制および社規・社則に則っていることを確認する。
・自職場の設備機器点検、教育および手順書の整備を、抜けないよう実行する。

- ・自職場の作業する方々と現場で言葉を交わし、課題を吸い上げ改善する。作業される方々は次の3つを実施する。
 - ・作業するその瞬間、その作業を安全に行うため指差確認する。
 - ・作業するその瞬間、決められたことを絶対を守るという強い気持ちを持つ。
 - ・作業するその瞬間、自分と仲間の安全を守るため整理・整頓・清掃を実施する。
2. 職場を明るく元気にするため、皆でコミュニケーションの活性化に努める。
・ほかの人に自分を認めてもらうため、大きな声で挨拶し積極的に発言する。
・ほかの人を理解するため、話を良く聞く。
 3. 環境マインドを醸成し、法令遵守と第6次環境中期計画を推進する。

④ 製品の「スペシャリティ化」を目指し、技術力と現場力の改革を推進します。

1. モノは設備がつくるもの、設備のあるべき姿を理解ししっかり管理する。
2. プロセス改善と操業管理強化で低コスト・高品質化を図り、製品競争力を高める。
3. IATF16949を活用し、新たな品質管理体制を構築する。
※IATF:自動車産業の国際的な品質マネジメントシステム規格

⑤ 「信頼」される企業としての誇りを持ち、より良い社会づくりに貢献します。

1. 会社の「信頼」は、従業員一人ひとりの信頼される行動が作り出す。
2. 我々一人ひとりが継続的に実力を高め、コンプライアンスを遵守し真摯に行動する。

CSR方針に沿った主な活動実績(2016年度)

コミュニケーション



子ども化学教室

市内公民館や小学校にて、特別授業や親子レクリエーションとして、地元小学生を対象とした化学教室を実施しました。



工場見学

中学生・高校生・大学生、JAの方々等をお招きし、当社に対する理解を深めていただきました。(延べ10回)



インターンシップ

県内外から高校生、高専生、大学生を受け入れ、工場内での職場体験を実施しました。(受け入れ人数9名)



大牟田市市制100周年記念事業「おおむたうまかもん祭り」

100年企業として参加。当社製品の紹介とともに青海養殖うなぎの蒲焼を来場者に提供しました。



清掃ボランティア活動

工場近隣住民の方々との協力し、工場周辺の美化に努めました。(6月参加人数253人、10月参加人数201人)



熊本地震ボランティア活動

地震発生直後より、熊本市内・益城町ほかへ支援物資の提供や瓦礫の片付け・炊出し、熊本県へ義捐金を贈る等の支援活動を行ってまいりました。(支援回数38回、延べ人数257人)

これからの取り組み

昨年度大牟田工場は、設立から100年の節目の年を迎えました。次の100年も持続する工場を目指して、環境保全や安全確保への投資を推進しながら、地域と一体となった清掃ボランティア活動や子ども化学教室等を積極的に行い、地域の皆さまから親しまれる企業を目指して活動を行ってまいります。



事業所概要

工場概要 デンカの石油化学事業の拠点である千葉工場は、スチレンモノマーを源流としたポリスチレン、ABS樹脂、SBC樹脂、透明樹脂等スチレン系樹脂、EVAエマルジョン、アクリル系ゴム等の石油化学系製品と、BOPSシートや塩ビテープ、住設・環境資材等の樹脂加工製品を製造しています。

主要製品 ●エラストマー・機能樹脂部門／超高純度アセチレンブラック、スチレンモノマー、ポリスチレン[®]、ABS樹脂、透明樹脂、耐熱性樹脂、SBC樹脂「クリアレン[®]」、EVAエマルジョン、ERゴム等（※東洋スチレン（株）製品）
●生活・環境プロダクツ部門／食品包材、住設・環境資材、塩ビテープ等

所在地 [千葉工場] 千葉県市原市五井南海岸6 Tel.0436-26-3200
[美幌分工場] 北海道美幌市東五条北10-1-1 Tel.0126-62-1444

従業員数 481名（2017年3月31日現在）

トップメッセージ

千葉工場は、地域に信頼され期待される工場を目指して、地域社会との共生と発展をテーマに掲げ、地域とのコミュニケーションを強化し、相互理解と信頼強化に努めています。

また、すべての企業活動に優先する「安全」について、「安全最優先」活動を展開し、安全文化の構築と本質安全化を目指して、特長ある安全活動に取り組んでいます。

“ご安全に”の挨拶から始まる明るい職場づくりに向けて工場全体で取り組んでいきます。



執行役員 千葉工場長
渡部 秀樹

CSR方針 | 工場長方針

- ・安全はすべてに最優先であることを徹底する。
- ・高性能・高付加価値の新製品を創出し、事業構造改革を推進する。
- ・間断なくコスト総点検を推進する。
- ・信頼と協調で、活気あふれる工場とする。
- ・明日の千葉工場を担う人材を育成する。

CSR方針に沿った主な活動実績（2016年度）

安全



工場総合防災訓練実施

公設消防、コンビナートの共同防災と合同で、自然災害やプラントの緊急事態に対して、迅速かつ適切な対応ができるように、実践的な訓練となる工場総合防災訓練を年3回実施しました。

環境



最新プロセス技術を導入し、省エネルギー化を達成

千葉工場最大のスチレンモノマー製造設備では、多くのエネルギーを必要とします。このたびの最新プロセスの技術を導入した改造により、省エネルギー化を達成（原油換算約8千KL/年）し、安全・安定操業を行っています。（CO₂排出削減効果：約1.7万t-CO₂/年）

コミュニケーション



「ちばアクアラインマラソン2016」ボランティア活動に参加

約1万6千人のランナーが参加した「ちばアクアラインマラソン2016」に、「Denka」のブルーの帽子を着用し、笑顔とおもてなしの心をもって、若手や女性従業員を中心にボランティアとして参加しました。



市原市「緑のカーテン事業」に協力

市原市は「緑のカーテン事業」を市内の公共施設や保育園、小中学校等、100施設以上で展開しています。千葉工場よりゴーヤ苗300株、デンカアヅミン200kgを提供し、市原市より感謝状を授与されました。



市原市内の県立高校進路指導部工場見学会を実施

臨海部企業と市原市内県立高校の関係者が就職の状況等について共通の理解を図り、就職につなげることを目的に、市原市経済部県立高校進路指導部教諭が来場し工場見学会を実施しました。



高校生インターンシップの受け入れと工場見学会を実施

高校生の勤労観や職業意識を高めるべく、千葉県内の高校3校12名のインターンシップの受け入れと高校3校約110名の工場見学会を行いました。

これからの取り組み

企業理念「The Denka Value.」のもと、千葉工場が地域から信頼されるモノづくりを継続できるよう、安全最優先で安定操業に取り組み、さらにコンプライアンス、労働安全衛生、人材育成、環境保護、そして地域貢献にしっかり対応していきます。

事故・災害のない、明るく元気な、そして働きがいのある信頼される工場となるよう、工場一丸となり取り組んでまいります。



事業所概要

工場概要 渋川工場は1951年に塩化ビニル系樹脂の製造拠点として開設されました。1976年に構造用接着剤「ハードロック®」の製造を開始、1984年には電子材料事業に本格参入して事業領域の転換が進み、現在は、電子回路基板、放熱部材、エミッター、構造用接着剤、仮固定用接着剤や半導体プロセス関連製品等のエレクトロニクス関連製品の生産に特化しています。デンカの有機系電子材料の中核拠点として、成長戦略の一翼を担っています。

主要製品 ●電子・先端プロダクト部門／高熱伝導性アルミニウム基板「ヒットプレート®」、放熱部材「放熱スパーサー」、熱陰極源「TFE®」「LaB6カソード」、機能性粘着フィルム「エレグリップ®」、構造用接着剤「ハードロック®」、光硬化型接着剤「ハードロック®OP/UV」

所在地 群馬県渋川市中村1135 Tel.0279-25-2109

従業員数 479名(2017年3月31日現在)

トップメッセージ

渋川工場は生産活動と製品を通じて「Denkaの使命」を果たすべく、製造事業所として、「全従業員の安心・安全」「顧客満足」「環境負荷低減」「地域社会への貢献」、これらを常に意識し取り組んでおります。

自動車の電動化・電子化・軽量化や、絶え間なく進化するモバイル電子端末などの分野で持続的成長を達成するとともに、地域・社会との信頼関係を築くため、地域との対話・交流、近隣企業と連携したボランティア活動なども重要な柱として注力してまいります。



工場長
石塚 芳己

CSR方針 | 工場長方針

- ・従業員全員が、安心して働ける安全・衛生・環境・品質づくりを進めます。
- ・企業理念「The Denka Value」の「Denkaの使命」を果たすため、成長につなげるモノづくりに取り組んでいきます。
- ・成長軌道の基盤となる生産性向上とコストダウンを徹底的に進めます。
- ・海外を含む生産体制の最適化によって競争力を確保しながら、開発案件や新事業創出課題の早期製品化を進めます。

CSR方針に沿った主な活動実績(2016年度)

環境



4月
中村用水路堰洗い

工場周辺を流れる用水路の清掃ボランティア活動を実施し、工場内外の美化に努めました。



10月
工場見学(三原団地ふれあいサロン)

高校生や看護学生、工場近隣の公民館の方々等をお招きし、当社に対する理解を深めていただきました。



4月
ボランティア活動

県内最大規模である「前橋・渋川シティアマソン」に本年も参加し、会社と組合員が協力して地域ボランティア活動に貢献しました。

コミュニケーション



3月
理科実験教室の実施

春休みに、当工場にて地元小学生を対象に工場見学および理科実験教室を実施。「マイペットボトルづくり」や「紫キャベツで酸性・アルカリ性を調べよう」の実験を行い、身近な製品に興味を持っていただいた。



11月
献血活動

春と秋の年2回、献血活動を実施しました。多くの方が率先して採血を行い、日本赤十字社センター長より感謝状を頂戴しました。



5月
労使共催ソフトボール大会

5月に毎年実施しており、労使並びに従業員家族も含めて交流を図り、健康増進にも役立てています。

これからの取り組み

- ・安全・衛生・保安の確保: 安全最優先の方針に沿って、すべての作業について安全対策を実施し、明るく元気な職場づくりを進めていきます。
- ・RC活動: 省エネ、産業廃棄物低減活動および生産活動を支えるインフラ整備を進め、環境負荷低減と環境事故防止に努めてまいります。また、社会貢献活動、地元の催しへの参加を積極的に推進します。
- ・品質活動: IATF16949※取得に向けた環境づくりを進め、品質改善を継続的に取り組むとともに法令遵守を徹底してまいります。これらの活動を通じ、地域との共生・信頼される工場を目指してまいります。

※自動車産業の新しい品質マネジメント規格



事業所概要

工場概要 大船工場は押出成形・粘着塗工・製膜加工における先進的な技術を活かした製品を生産しています。世界的ブランドとなったウィッグ・ヘアピース用の合成繊維原糸「トヨカロン®」、手切れ性等の機能性に特長を持つ包装テープ、横切れ性ポリエチレンフィルム「Yフィルム」等の多彩な製品を製造する樹脂加工製品の中核拠点です。

主要製品 ●生活・環境プロダクツ部門/ウィッグ・ヘアピース用合成繊維、包装資材、機能性フィルム等

所在地 神奈川県鎌倉市台2-13-1
Tel.0467-45-1110

従業員数 183名(2017年3月31日現在)

トップメッセージ

私たちは、日本で有数の歴史・文化・環境を持つ鎌倉市で、生産活動に従事しています。豊かな自然環境との調和を図り、より良い生活と持続可能な社会の実現に貢献することを環境方針に掲げ、廃棄物削減、省エネルギー活動の推進により環境負荷低減に努めて、環境マネジメントシステムを活用した継続的改善を進めています。

安全活動では、ヒヤリハットとリスクアセスメントの活用でリスクの継続的低減に努め、労働安全衛生に関する法規制の遵守、労働災害および疾病の予防を推進し、「ご安全に!」を合い言葉に、安心して働ける職場環境の実現に努めています。



大船工場長
清水 美基雄

CSR方針 | 工場長方針

「誠意とチャレンジ精神で果敢に難題に挑もう!」をスローガンに、工場の基本方針に沿って、以下の方針を策定し、推進していきます。

1 安全衛生方針

・労働安全衛生を生産活動の最も重要な基盤と捉えています。

2 環境方針

・環境と生産活動の調和を図り、豊かな自然環境と地域社会とで、よりよい生活と持続可能な社会の実現に貢献します。

3 品質方針

・安全で高品質な製品をタイムリーに供給し、お客様の満足度向上に努めます。

CSR方針に沿った主な活動実績(2016年度)

安全

11月



工場総合防災訓練

鎌倉市消防本部とともに、工場全体の防災訓練を毎年実施して、緊急事態等への防災対応を進めています。

コミュニケーション

7月



夏まつり

毎年恒例の地元富士見町内会の夏まつりの会場として工場正門の広場を提供し、模擬店の出店等を通じた近隣の方々との交流を深めています。

11月



大船小学校生徒の工場見学

地元小学校3年生が社会科学習で来場され、当工場製品のかつら糸の引っ張る強さを確かめる実験や、かつらの試着体験をしていただきました。変わった髪形を見せ合い歓声を上げる等、見学を楽しんでいただきました。

環境

5月



工場周辺の清掃活動

近隣町内の地域美化に向けた活動として、工場周辺の清掃活動を行っています。

10月



鎌倉モノづくり展

鎌倉市商工会議所が主催した地元企業の技術と製品を紹介する「鎌倉モノづくり展」に、トヨカロンと包装テープを展出了しました。

11月



鎌倉女学院中学校生徒の工場見学

地元中学校1年生が工場見学に訪れ、テープを紙管に巻きつける速さや梱包箱を素早く積み付けるロボットの動きに驚く等、熱心に見学されました。

これからの取り組み

- ・ヒヤリハット摘出を推進し、リスクアセスメントの取り組みにつなげ、リスクの継続的低減に努める。
- ・ISO9001およびISO14001の2015年度版への移行により、マネジメントシステムの有効性と効率を高める活動を行う。
- ・「ご安全に!」と「職場の3S活動」を積極的に取り組み、安全・環境・品質の向上を継続する。
- ・地域に信頼される事業所として、積極的な社会活動を継続する。



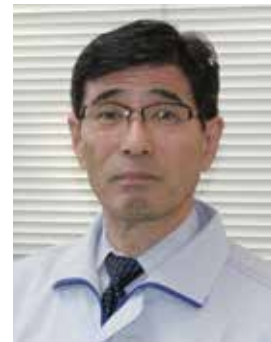
事業所概要

- 工場概要** 伊勢崎工場は、ポリスチレン、塩化ビニル等を原料とするシート・フィルムの製造を行っています。食品包装材料や電子包装材料といった、高機能でかつ徹底した品質管理が必要な用途へ製品を供給しながら、加工技術の向上と、高付加価値製品の開発に取り組んでいます。
- 主要製品**
 - 電子・先端プロダクツ部門／半導体、各種電子部品の搬送工程で使用されるキャリアテープ、トレイ、カバーテープ等
 - 生活・環境プロダクツ部門／各種食品包装用シートやストレッチフィルム、太陽電池モジュールのバックシート材料
- 所在地**
 - 【伊勢崎工場】群馬県伊勢崎市長沼町西河原245
Tel.0270-32-1251
 - 【伊勢崎工場(太田地区)】群馬県太田市世良田町3015
Tel.0276-52-4111
- 従業員数** 252名(2017年3月31日現在)

トップメッセージ

伊勢崎工場は自然豊かな群馬県の伊勢崎市と太田市にあります。主に食品や電子部品の包装材料となるプラスチック製のシート製品とフィルム製品を生産しています。製品の製造過程では、電力消費、廃棄物排出、工業・生活用水の排出があることを認識し、継続的な環境改善に努めていきたいと考えます。

Denkaの使命である「化学の未知なる可能性に挑戦し、新たな価値をつくることで社会発展に貢献する企業となる。」を目指し、Denkaの行動指針に従って、安全最優先で、高品質な樹脂加工製品の製造および、次世代を担うスペシャリティな新製品を開発するとともに、地域社会から信頼され、地域とともに発展する工場として社会的責任を果たしていきたいと考えます。



執行役員 伊勢崎工場長
田口 広一

CSR方針 | 工場長方針

働きがいのある新しい伊勢崎工場を実現しよう

1 安全衛生

- ・安全を最優先にして本質安全となる対策、高いレベルの危険予知を行い、無災害・無事故を目指す。
- ・コミュニケーションが活発な働きがいのある職場にする。

2 品質

- ・g-r活動*で現場力を向上させ、最高レベルまで品質を高める。
- ※g-r活動：g-rはgenba-ryoku(現場力)の略で、「現場力」による改善を進めるQCサークル活動

3 環境

- ・省資源・省エネルギーを推進し、廃棄物を削減する。
- ・地球環境に配慮した新製品開発を推進する。

4 Denka100と業務プロセス改善

- ・最終年度の目標を達成する。
- ・次世代新製品を実績化する。
- ・全業務を見直し、効率化とワークライフバランスの向上を図る。

CSR方針に沿った主な活動実績(2016年度)

安全

7月



総合防災訓練

工場全体の防災訓練を毎年実施して、災害等への対応を進めています。

随時



従業員への声掛け運動

年末年始や全国安全週間には、労使共催で朝の声かけ運動を行い、従業員とのコミュニケーションと安全意識の啓発を図っています。

環境

随時



周辺の公園清掃

伊勢崎地区では、工業団地内の公園を定期清掃しています。また、太田地区でも工場周辺のゴミ拾いを行っています。

コミュニケーション

1月



「いせさき製品展示会」出展

伊勢崎市のモノづくり(工業製品、工芸品等)の認知度を高めるイベントに参加する等、地元自治体の取り組みに協力しています。

7月



QCサークル群馬大会への参加

QC活動が活発化しており、代表グループはQCサークル群馬大会に出場しています。2016年度は優秀賞を受賞しました。

1月



労使共催行事

健全な労使関係の構築と、従業員の一体感の醸成のため、労使で手を取り合い、いろいろな行事を手掛けています。

これからの取り組み

- ・安全最優先のもと、従業員の安全を確保する取り組みに加え、機械化等による軽労化を図ります。
- ・品質面では、多様化するお客様の要望に合わせた品質レベルの向上に努めます。
- ・健全な労使関係の基に、従業員が働きやすい職場づくりを進めます。
- ・社会貢献活動によって地域に信頼される事業所であり続けるよう努力します。



事業所概要

工場概要 デンカイノベーションセンターの歴史は、1916年に設立された目黒分析所が中央研究所として町田に移転した1962年から始まります。これまで、無機化学、有機・高分子化学、樹脂加工やバイオ等、多岐に渡る分野で多くの基盤技術や新製品を創出し、デンカの事業を確立する礎を築いてまいりました。これからもデンカグループの研究開発拠点として、基盤技術のさらなる深耕と次世代製品・技術の開発を目指す中・長期テーマの研究開発活動に注力してまいります。

所在地 東京都町田市旭町3-5-1 Tel.042-721-3611

従業員数 181名(2017年3月31日現在)

トップメッセージ

「デンカイノベーションセンター」は2014年の本館リニューアルを機に、デンカグループのオープンイノベーションを推進する中核拠点として本格的な活動を開始いたしました。成長が期待されるヘルスケア、環境・エネルギー、インフラの三分野に対し、先進技術研究所、ライフイノベーション研究所、インフラソリューション開発研究所が新たな価値の創出を目指す研究開発拠点として機能しています。さらに、国内外のパートナー企業や外部研究機関とのコラボレーションの場として多くの方々にご来所いただき、デンカの製品・技術を知っていただくとともに、お客様との協創を目指すソリューション提案の場としても、広く活用いただいております。また、将来を担う子どもたちに化学の魅力を知ってもらう「子ども化学実験ショー」への参加や近隣小学生の社会見学等、CSR活動拠点としても一翼を担っております。

これからも、社会に貢献して健全な成長が持続できる企業を目指し、グループ一丸となって新しい価値を創出する画期的なイノベーションの創造に注力してまいります。



常務執行役員
研究開発・イノベーションセンター 統括
新事業開発部、研究推進部、知的財産部 担当
清水 紀弘

CSR方針 | 工場長方針

サステナブルな企業活動を目的とした社会規範を遵守する風土の醸成

- ・環境負荷レベルの維持管理と継続的な低減活動の実践
- ・化学物質の規制強化への対応とSQC活動による研究開発の効率化

CSR方針に沿った主な活動実績(2016年度)

安全

12月



総合防災訓練

市消防署と共同で、イノベーションセンター総合防災訓練を開催しました。初期消火における消火器の取り扱い、救命訓練、緊急避難訓練として指揮者不在を想定した避難・通報訓練を実施するとともに、万一の時の有害化学物質の環境漏洩防止手順等を確認しました。

環境

随時



清掃活動

社会奉仕活動として、イノベーションセンター周辺の清掃活動を毎月実施しています。本活動を通して、近隣住民の皆さんとともに、地域が一体になって環境保全に取り組んでいます。

コミュニケーション

8月



夢・化学21委員会主催 子ども化学実験ショー

「夢・化学21委員会」の主催の「子ども化学実験ショー」に5年連続出場し、次世代を担う子どもたちに、化学のおもしろさや不思議さ、化学産業の社会貢献等をお伝えする活動を行いました。

6月



子ども化学実験教室

近隣の小学生とその家族を対象に「子ども化学実験教室」を開催しました。身近にある「ゲル」を紹介し、自分だけのキーホルダーを作成していただきました。また、化学産業の環境問題への取り組みと社会貢献等を紹介しました。

9月



小学生による見学会

近隣小学校3年生の社会科学習の一環で、地域企業見学会を開催しました。当社の紹介や電子顕微鏡・ヒアルロン酸の溶解実験を体験していただきました。従業員とのコミュニケーションも活発に行われました。

8月



イノベーションFESTA

恒例の「イノベーションFESTA」を8月に開催し、従業員とその家族約180名が参加しました。また今年度は、町内会役員も参加していただきました。従業員が働く環境をご観いただくとともに、全員参加のゲーム等を通じて、参加者同士の懇親を深めました。

これからの取り組み

イノベーション研究の推進による、次世代事業の創造にチャレンジしてまいります。デンカグループが保有する多種多様な技術の連携・融合と、パートナー企業や外部研究機関とのコラボレーションにより、これまで以上のスピードで、新たな価値を創出して、社会発展に貢献いたします。

メルbau工場 (デンカシンガポール プライベートリミテッド)

Denka Singapore Pte.Ltd. Merbau Plant



事業所概要

工場概要 1980年にデンカがシンガポール石油化学コンプレックスプロジェクトに参画して設立された、シンガポール最初のプラントです。シンガポールの石油化学産業が集積するジュロン島において、アセチレンブラックの製造を行っています。1984年に50%プレス設備の稼働を開始し、1997年に増設を実施、2002年には粒状設備を新設しました。

所在地 Office: 4Shenton Way #29-02 SGX Centre 2, Singapore 068807 Tel.65-6225-6120
Plant: 300 Ayer Merbau Road, Singapore 628282 Tel.65-6867-8496

従業員数 50名(社員33名、協力会社17名)(2017年3月31日現在)

トップメッセージ

私たちの工場では、今年6月30日で無災害記録が2年になりますが、気を抜く事なく、今後も無事故・無災害を継続するため、「自分を守り、一緒に働く仲間を守る安全活動」を推進していきます。



工場長
古賀 祐司

CSR方針

- ・ 無事故・無災害の継続
- ・ 自分を守り、一緒に働く仲間を守る安全活動の実施
- ・ 美化活動(5S強化、塗装)

CSR方針に沿った主な活動実績(2016年度)

安全



PCSとの合同緊急訓練



職制による安全パトロール



職制による安全教育風景

1. 挟まれ・巻込まれ災害の撲滅
2. PCS*との合同緊急訓練(年4回)
3. 従業員への教育強化と、現場作業員への声掛け、作業前・中の注意喚起。

*PCS: Petrochemical Corporation of Singapore Pte. Ltd.

これからの取り組み

社員・協力会社社員に挟まれ・巻込まれの恐れがある設備・作業につきヒアリングを行い、全員で意見を出し合い、設備面および作業面の改善を実施、また、5S強化や塗装により工場内の美化を進め、安全で綺麗な工場にしていきます。

セラヤ工場 (デンカシンガポール プライベートリミテッド)

Denka Singapore Pte.Ltd. Seraya Plant



事業所概要

工場概要 セラヤ工場は1998年にGPPS製造プラントとして生産を開始し、2006年にはMS樹脂「TXポリマー®」とSBC樹脂「クリアレン®」プラントを増設、2012年4月にはイミド化ポリマー「デンカIP®」のプラントを稼働させ、4プラント合計で、年間325,000トンの生産能力となりました。工場内にはテクニカルセンターも設置する、スチレン系樹脂事業の一大拠点です。

所在地 Office: 4 Shenton Way #29-02 SGX Centre 2, Singapore 068807 Tel.65-6225-6120
Plant: 40 Seraya Avenue, Singapore 627873 Tel.65-6867-6089

従業員数 75名(2017年3月31日現在)

トップメッセージ

Denkaは限りある資源とエネルギーを利用して「価値ある製品」をつくり、生産活動を通して社会に貢献する会社です。そのためには、生産活動をする「環境」と「社会」、働く「人」への十分な配慮と協調が必要です。このデンカシンガポールにおいても、「環境、社会、人」との関わりを大事にした生産活動を行っていきます。



General Manager
川村 禎生

CSR方針

- ・ 安全第一で、環境負荷の小さな工場を目指します。
- ・ 従業員一人ひとりが、良いサービスプロバイダーとして、社会に貢献します。
- ・ 多民族、多宗教という社会的背景を踏まえた、ダイバーシティに取り組んでいきます。

CSR方針に沿った主な活動実績(2016年度)

安全



MHI規制に対応するworkshop



シンガポールで新たに始まる法規制Major Hazardous Installations(危険物、有害物質の保安事故に対する安全対応)に対応するため、外部コンサルタントを招いてworkshopを開催。

これからの取り組み

- ・ IoT技術を取り入れた業務プロセス改革と、環境負荷低減に取り組み、当工場働く人のワークライフバランスの改善を進めていきます。

トアス工場 (デンカアドバンテック プライベートリミテッド)

Denka Advantech Pte.Ltd. Tuas Plant



事業所概要

工場概要 トアス工場は、溶融シリカフィラーの海外生産拠点として、1991年に操業を開始しました。本製品の主用途となる半導体パッケージの高性能化、環境対応に特化した球状タイプの生産に集中し、品質向上や生産体制の強化を進めています。大牟田工場との連携のもと、当工場からは中国、東南アジアの市場を中心に製品を供給しています。

所在地 Office: 4 Shenton Way #29-02 SGX Centre 2, Singapore 068807 Tel.65-6321-9530
Plant: 11A Tuas Avenue 20, Singapore 638823 Tel.65-6861-0004

従業員数 68名(2017年3月31日現在)

トップメッセージ

トアス工場は溶融シリカフィラーの生産拠点として、昨年25周年を迎えました。半導体の厳しい市場環境の中、今後も持続的に発展を遂げるべく、安定操業の継続、生産技術の向上、製品品質の改善に取り組んでいます。工場運営において、設備の保安と従業員の安全確保は基本です。従業員全員が安心して働ける職場環境を築き上げるべく、安全活動を推進しています。



General Manager
飯塚 慶至

CSR方針

- ・ 工場の保安・従業員の安全を確保
- ・ 省エネ、省資源推進による環境負荷の低減
- ・ 品質リスク管理によるクレーム防止、顧客満足度の向上
- ・ 市場の需要・技術動向にマッチした供給体制の整備
- ・ 工程改善と生産技術向上によるコストダウンの推進

CSR方針に沿った主な活動実績(2016年度)

安全



安全検討会の様子



緊急訓練

安全パトロールや緊急時対応訓練等の活動に加え、2015年より安全指導者による全作業員対象の安全講習会を定期開催し、安全意識向上を図っています。

環境

- ・ 省エネ活動(生産性向上による電力・ガス原単位の削減、省電ライトへの切り替え等)
- ・ リサイクル推進(ポリエチレンカーパー、フレコンバッグ、金属等)
- ・ 節水活動(水道水管理システムの導入)

これからの取り組み

- ・ 無災害を継続するには、一人ひとりの安全レベルを向上させることが必須です。当工場では「自分たちで考え、工夫する安全活動」を推進していきます。
- ・ 加えて「徹底的なコストの見直し」と「品質における他社との差別化」を進めることで、事業収益の確保・拡大を目指します。



トアス工場一同

サウス工場 (デンカアドバンテック プライベートリミテッド)

Denka Advantech Pte.Ltd. South Plant



事業所概要

工場概要 サウス工場は、ウィッグ・ヘアピース向け合成繊維「トヨカロン®」の製造工場として2013年6月より操業を開始しました。当社は1952年に世界に先駆けてPVC繊維の工業化に成功、現在はアフリカやアメリカの頭飾用繊維市場を中心に出荷しています。今後はアフリカ市場の一層の拡大が見込まれており、大船工場に続く第二の拠点として世界の需要に応じていきます。

所在地 Office: 4 Shenton Way #29-02 SGX Centre 2, Singapore 068807 Tel.65-6224-1305
Plant: 6 Tuas South Drive Singapore 637046 Tel.65-6412-9200

従業員数 41名(2017年3月31日現在)

トップメッセージ

アフリカ市場向け頭飾用繊維の生産拠点として2013年6月に操業を開始してから4年が経ちました。昨年は操業開始時から取り組んできた安全活動の継続、生産効率向上によるコストダウン等、種々の活動に取り組んでまいりました。今年度も安全最優先の方針のもと、安全体制の強化、さらなる品質向上、生産性向上、コストダウンの推進を行ってまいります。



General Manager
吉野 善行

CSR方針

- ・ 安全活動推進による無事故・無災害の推進
- ・ リサイクル・省エネ推進による環境負荷の低減
- ・ 生産体制強化による品質向上とコストダウン
- ・ 社内外のコミュニケーションの推進

CSR方針に沿った主な活動実績(2016年度)

安全



安全活動

- ・ 月例5S安全パトロールおよび対策会議の実施
- ・ 避難・消火訓練の実施

生産体制の強化

工程検査強化、作業手順書見直し、オペレーター教育、社外教育の推進による品質向上、収率向上等による生産性向上。

コミュニケーション

コミュニケーション推進

社内ミーティング、ディナーパーティーの開催、社外ゲストへの対応等

これからの取り組み

- ・ 安全や環境活動等、当社の基本的な活動への注力を継続し、無事故・無災害に努めます。
- ・ 様々な人種が混在する作業環境の中で、作業手順書や表示物の充実、分かりやすい作業教育等を進めています。今後この活動をさらに充実させ、安全および製造技術レベルの底上げを行います。



サウス工場一同

デンカアドバンスドマテリアルズ ベトナム カンパニーリミテッド

Denka Advanced Materials Vietnam Co., Ltd.



事業所概要

- 工場概要** 当社は、アジア、中東地区の旺盛な需要に応えるため、自動車電装電線(ワイヤーハーネス)結束用途に使用する「ビニテープ®」と、電子部品、半導体部品搬送用エンボスキャリアテープ「デンカサーモフィルム®」の製造・販売を目的に設立されました。当社は、物流やコスト面での優位性を活かして、より競争力のある製品を供給してまいります。
- 所在地** Plot D-5, Thang IP II, Lieu Xa Commune, Yen My District, Hung Yen Province, Vietnam
Tel.84-221-3974-805 Fax.84-221-3974-806
- 従業員数** 89名(2017年3月31日現在)

トップメッセージ

デンカベトナムは、ビニテープとカバーテープの製造・販売を行う会社です。2013年12月に会社を設立し、工場建設工事と同時に会社組織づくりを進め、まさに本格製造を始めたばかりの新しい会社です。雇用の確保、原材料の現地調達を通じ、ベトナム地域経済への貢献に努めてまいりました。今後のさらなる増産により、地域経済への貢献と同時に、周辺の村の学校への寄付活動を通じた社会貢献も継続してまいります。



General Director
佐々木 欣夫

CSR方針

全社員に「社員は、会社の宝である。」とのメッセージを発信しています。安全の確保は勿論のこと、安全教育の充実、作業環境の向上、風通しの良い職場の構築を通じて、社員が生き生きとして働ける会社を目指しています。製造においては、品質の継続的向上、環境負荷の低減を目指し、ISOの活用を図ります。工場周辺の住民からも愛される会社を目指し、地域貢献活動を継続推進します。

CSR方針に沿った主な活動実績(2016年度)

安全



安全教育や救急訓練

安全で快適な職場づくりを目指しています。

コミュニケーション



社内旅行でビーチに宿泊

様々なアクティビティを通じて、社員間の団結力を高めています。



ファミリーデー

従業員の家族を工場に招待し、信頼関係を高めています。



地域貢献

駅伝大会・サッカー大会・夏祭り参加
社員の結束を高めています。
周辺の村にコンピュータ等を寄付する等、工業団地の一員として活動しています。

これからの取り組み

今年、当社は操業開始3年目を迎えます。今年度も上述CSR方針に沿った活動を継続します。特にファミリーデーは、従業員家族の皆さんに会社を良く理解してもらう良い機会ですので、家族ぐるみで従業員との信頼関係をより強くしていきたいと考えています。儒教の国ベトナムでは家族の結びつきが日本と比べようもなく強固なので家族も大切に活動していきます。



デンカベトナム一同

デンカインフラストラクチャー マレーシア スンディリアンブルハド

Denka Infrastructure Malaysia Sdn Bhd.



事業所概要

- 工場概要** 当社は2002年に設立され、2015年からデンカグループの一員となりました。DISBの主力事業は特殊建設用化学品の製造、販売です。建設用化学品市場で世界のリーダーとなることを目標としています。
- 所在地** No 18, Jalan Utas 15/7, Seksyen 15, Shah Alam, 47650, Selangor, MALAYSIA
Tel.+603-5510-8810 Fax.+603-5510-0708
- 従業員数** 105名(うち日本人スタッフ2名)(2017年3月31日現在)

トップメッセージ

Denka Infrastructure Malaysia Sdn. Bhd. (DISB)は2015年4月よりDenkaグループの一員となりました。健康的で安全な職場環境づくりとともに、国内外の法規制、関連する指針やガイドラインに則り、安全な業務遂行を実践していくことを当社の方針としています。

安全・健康・環境関連のマニュアル整備の継続的な取り組みに加え、安全で快適な職場を保つため、従業員の意識を高める訓練を実施しています。



Managing Director
Paul Low

CSR方針

- ・安全な作業手順、安全な職場環境の整備
- ・認識し得るすべてのリスクに対する安全対策の確立
- ・従業員への健康・安全に関する緊急事態、および、環境保全に備えた安全管理能力の継続的な向上
- ・従業員の一体感の醸成

CSR方針に沿った主な活動実績(2016年度)

安全



安全活動

災害防止への意識を高めるため、従業員・関係会社社員への定期的な安全訓練を継続しています。就業中の災害が特に発生しやすいフォークリフト作業・製造工程・化学品の取り扱い時における災害発生を回避することを重要な目的としています。

環境



環境活動

DISBではISO 14001の認証を目標とし、環境管理システムの構築に必要とされる書類の準備や作業手順の見直しを行い、排出物の管理手法の改善にも絶えず注力しています。

これからの取り組み

マレーシアは多民族国家であり、DISBもまた、多くの民族の従業員が働いています。従業員の団結力は大切な事であり、社内のスポーツクラブ主催によるイベントへの参加を推奨しています。2016年にはDISBチームビルディングイベントと称し、植物園でオリエンテーリングを行いました。今後も様々なイベントを開催する事により、従業員の団結力をより一層高めていきたいと考えています。



DISB一同

電化精細材料(蘇州)有限公司



事業所概要

工場概要 当社は、中国におけるデンカ戦後初の生産販売会社として2006年1月に設立されました。現在、電子包装材料であるキャリアテープ関連シートの原反製造およびスリット加工、並びに食品包装用シートの製造を行っています。

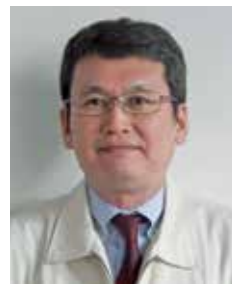
主要製品 電子包装材料用シートおよびフィルム・食品包装用シート

所在地 中国江蘇省蘇州市蘇州工業園区興浦路333号9B
Tel.86-512-6287-1088

従業員数 76名(日本人3名含む)(2017年3月31日現在)

トップメッセージ

昨年に引き続き、工場長方針として「ルール、マナー、モラル」「相互理解・尊重」「向上心」の3点を掲げ、全員が安全への取り組みのみならず、品質や競争力の向上を図り、常に顧客満足度の向上を目指してまいります。



総経理
小山 達哉

CSR方針

- ・無事故・無災害を実現するための安全活動を地道に継続する。
- ・法令を遵守し、環境保全への取り組みを主体的に進める。
- ・教育・訓練を積極的に実施し、常に職場のレベルアップを図る。

CSR方針に沿った主な活動実績(2016年度)

安全



無事故・無災害

2016年9月9日に、無事故・無災害1000日を達成しました。次の目標である2000日へ向けて、すでに全員で動き出しています。

コミュニケーション



バーベキュー大会

社員旅行のほかにバーベキュー大会等も開催。

これからの取り組み

- ・常に全員で「安全で綺麗で働きがいのある会社」を目指す。
- ・様々な利害関係者のニーズおよび当社へ期待されることを理解し、積極的に対応する。
- ・「気づく」力、「伝える」力の強化により、無事故・無災害を継続し続ける。

電化新材料開発(蘇州)有限公司



事業所概要

工場概要 当研究所は、中国市場におけるデンカ製品の需要家から寄せられる分析、検査、性能評価、改良等の要望に迅速に応えるべく2010年12月に設立されました(営業開始2011年8月)。現在、特殊合成ゴム(クロロプレン、ER)、「ハードロック®」(2液アクリル系接着剤)、コンクリート用特殊混和材の研究開発を行っているほか、2013年度からは、食品包材用機能性シート、仮固定用接着剤「テンプロック®」の研究にも着手しています。

所在地 中国江蘇省蘇州市蘇州工業園区興浦路333号1D
Tel.86-512-6280-6808

従業員数 19名(2017年3月31日現在)

トップメッセージ

DCDIは、中国立地を最大限に生かし、価値創造を具現化する「できるをつくる。」の発信基地として、中国市場に適応した製品開発、カスタマーへの技術支援、大学、研究機関との技術交流に積極的に取り組んでまいります。また、研究活動の礎として、無事故・無災害継続を目標に安全最優先な職場づくりに努めます。



総経理
大島 和宏

CSR方針

- ・無事故・無災害の継続
- ・安全生産標準化の継続対応と各種法令遵守
- ・人材育成/研究員のさらなるスキルアップと安全意識の向上
- ・業務プロセス改革/働きやすい研究環境整備

CSR方針に沿った主な活動実績(2016年度)

安全



安全生産標準化取得

所員一丸となり、取得に必要な帳票類を整備し、8月に初めて「安全生産標準化」(等級:小微企业)で登録されました。



コミュニケーション



社員家族旅行



従業員およびそのご家族と一緒に、6月には浙江省安吉にパンダ見学、10月には毎年恒例の楊澄湖へ上海蟹ツアーを実施しました。

これからの取り組み

デンカの基盤技術の強みを最大限に生かし、既存テーマだけに縛られることなく、中国各事業所と連携を取りながら、横断的に機動力を持って、健康、環境、エネルギー、インフラ等成長分野を意識した新事業創出に果敢に挑戦します。

電化無機材料(天津)有限公司



事業所概要

工場概要 当社は、中国市場でのインフラ整備・補修需要の高まりを受け、セメント・コンクリート用特殊混和材の同国初の製造拠点として2013年9月に設立されました。中国特殊混和材の事業統括会社である「電化創新(上海)商貿」、研究開発拠点となる「電化新材料研究(蘇州)」と連携して、地元材料・工法に基づく市場ニーズに、的確かつスピーディーに応える生産体制を整えています。

所在地 中国天津市西青経済技術開発区賽達機械園3号
Tel.86-22-8792-0488

従業員数 9名(2017年3月31日現在)

トップメッセージ

当社は「安全」優先の職場づくりを行うとともに、「環境」に配慮し、「信頼されるモノづくり企業」となるよう、まじめで誠実な企業活動を実践してまいります。



総経理
白山 裕

CSR方針

安全操業を企業活動の基盤とし、社内美化と労働環境改善を推進し、働く人にやさしい企業を目指します。

CSR方針に沿った主な活動実績(2016年度)

安全



安全活動

防災訓練の一環として、消火器の取り扱い研修を実施しました。

環境



環境・衛生

朝礼後、全員で安全唱和を行い、一日の作業を開始します。

これからの取り組み

- ・ 中国の安全に関連する法や規則の遵守
- ・ 稼働率向上に見合った体制づくりと無災害の継続

電化電子材料(大連)有限公司



事業所概要

工場概要 当社は高速鉄道等に用いられるパワーモジュールの信頼性向上に欠かせない高性能放熱プレート「アルシンク®」製造を目的に2015年から操業を開始いたしました。安全かつ環境への負荷が少ない高速鉄道は、今後世界各国で需要の拡大が見込まれており、これらの需要に応えるべく、高品質な製品を安定的に供給できる体制を構築してまいります。

所在地 中国遼寧省大連市経済技術開発区湾達路41-10号
Tel.86-(0)411-6263-4377

従業員数 28名(2017年3月31日現在)

トップメッセージ

当社は、鉄道車輛等に搭載されるパワーモジュールの放熱板「アルシンク」の製造を行う会社として、2014年9月に中国・大連に設立されました。まだ設立して3年の新しい会社ですが、社員一丸となって安全で快適な会社づくりに取り組んでまいります。



総経理
福田 誠

CSR方針

- ・ 安全最優先の方針のもと、安全で快適な職場づくりを進める。
- ・ 法令を遵守して、環境保全に取り組む。
- ・ 教育・訓練による人材の育成。

CSR方針に沿った主な活動実績(2016年度)

安全



避難、消火訓練

朝礼での安全三か条の唱和、ラジオ体操、安全教育、職制による安全パトロール、リスクアセスメント等の活動を通して、安全文化を根付かせるための安全教育・活動を展開しています。

コミュニケーション

新年会や花見会等を通して、風通しの良い、話しやすい職場づくりに努めています。



安全の三か条唱和

提案・ヒヤリハット制度を用いたボトムアップによる改善活動を進めています。提出された提案・ヒヤリハットは全体ミーティングで全員の前で表彰することで、モチベーションのアップを図っています。

これからの取り組み

当社はできたばかりの新しい会社であり、社員も二十代後半という若い社員が主体の会社です。デンカの文化を中国・大連に根付かせるべく教育・訓練を計画的に進めるとともに、現地の人たちの改善意欲を活性化して、安全で働きがいがある職場づくりを目指します。

デンカパフォーマンスエラストマー エルエルシー

Denka Performance Elastomer LLC



事業所概要

工場概要 当社はデンカ、三井物産の共同出資により、2015年11月にアメリカDuPont社のクロロプレンゴム(ネオプレン)事業を譲り受けて設立されました。伝統あるネオプレン事業に、デンカが独自に研鑽した技術を組み合わせ、米州を中心に世界市場に向けて、より高品質な製品を供給してまいります。

所在地 560 Highway 44, LaPlace, LA70068, USA
Tel. +1-985-233-7600
Fax. +1-985-359-4781

従業員数 239名(2017年3月31日現在)

トップメッセージ

当社は、設立後2年目を迎えました。デンカグループのクロロプレンゴム事業の一層の強化・発展を目指して、約230名のアメリカ人従業員とともに、ネオプレン販売の拡大と技術力・コスト競争力向上に取り組んでいます。また地域活動に積極的に参加して、地域社会の発展に貢献してまいります。



Vice President Technology
香坂 昌信

CSR方針

- ・ 職場の安全衛生と設備の保安防災を最優先とし、法令遵守のもと、企業としての責任を全うする。
- ・ 明るく元気な職場づくりに継続して取り組む。
- ・ 地域社会の発展に貢献し、地域社会から深く信頼される企業となることを目指す。

CSR方針に沿った主な活動実績(2016年度)

環境



地域のゴミ収集活動

毎年4月に各企業参加による近隣家庭からの有害ゴミ収集活動を実施。当社も昨年に続き参加しました。

コミュニケーション



Andouille Festival

毎年10月の地元St. John Parishの伝統的なお祭りAndouille Festivalにスポンサーとして参加しています。



地域関係者との定期集会

毎月、行政関係者や地域の住民等を招いた定期集会を行い、操業状況の報告と意見交換を行っています。

これからの取り組み

デンカグループのクロロプレンゴム事業の基盤を当地に築き上げるため、DuPontから譲り受けた事業に、持続的成長のための戦略を加えたDPE's own Wayによる企業活動を推進します。また社会的責任の遂行に努め、当社企業活動に対し従業員および地域社会からのより深い信頼・理解を得るべく取り組んでまいります。

アイコンジェネティクス ゲーエムベーハー

Icon Genetics G.m.b.H



事業所概要

工場概要 当社は、タバコ植物を使って効率的にタンパク質を製造する独自の保有技術をベースに、ワクチンや診断薬を研究開発している企業であり、臨床試験向けのワクチンの供給や試薬向け遺伝子組換えタンパクの試作等に対応できるGMP施設を有しています。また、これまでの研究開発からワクチンや診断薬分野で数々の製品候補を保有しています。

所在地 Weinbergweg 22, D-06120, Halle (Salle), Germany
Tel.+49-345-5559889-664 または 885

従業員数 22名(取締役3名および日本人研究者2名含む)
(2017年3月31日現在)

トップメッセージ

当社はデンカグループの一員になり、2年が経過しました。現在は、当社が保有する技術プラットフォーム“magniCON”(タバコ植物を使い、ヘルスケア分野で有用な遺伝子組換えタンパク質を短期間で効率良く産生できる技術)を駆使して、広く人々の健康維持・推進に貢献できる、新ワクチンや診断薬開発に取り組んでいます。



CEO
蛭田 和幸

CSR方針

当社は、バイオ系企業に求められる法令を遵守し、職場環境の向上を継続的に推進してまいります。また、地域社会の一員として、社会と価値を共有するための先端的かつ持続可能なビジネスモデルを追求してまいります。

CSR方針に沿った主な活動実績(2016年度)

安全



安全(教育、法令遵守)

生物安全性や保安規定に関し、ドイツ国法令の要求を満たすよう、従業員を対象とした教育を定期的に行いました。また、研究開発活動の進捗に伴い、ドイツ国内法や国際的要求に従い、GMP製造に関する作業標準書や品質保証システムを適宜充実させました。

環境

化学品や潜在的有害廃棄物処理について、国のルールに従い、厳格に対応しております。地元政府の定期的モニターでこれまで一度も指摘や指導等はありません。

コミュニケーション



地域交流

将来のキャリア形成に向けた機会として、バイオテクノロジーに興味を持つ学生等を対象とした地元の教育プログラムに参加し、当社技術の紹介も行いました。

これからの取り組み

- ・ バイオ系研究開発企業として、生物安全性等の法令遵守を徹底する。
- ・ 新ワクチンとなるノロウイルスワクチン開発を中心に、広く人々の健康維持・推進に貢献できる製品開発を推進する。
- ・ 地域社会と価値を共有できる企業として成長し、さらなる信頼を獲得する。

デンカポリマー株式会社



事業所概要

- 工場概要** 当社は1966年に設立したプラスチック軽量食品容器の総合メーカーです。デンカグループの総合力を基盤として多層・複合シートの特性を追求しながら、包装適性・デザイン・色彩等の商品価値を向上させて、多面的なパッケージの可能性に挑戦しています。
- 主要製品** OPS製品、惣菜容器、弁当容器、寿司容器、刺身容器、PSPトレー、ソフライト製品、農産品容器、食品包装用ストレッチフィルム
- 所在地** 本社:東京都江東区木場 1-5-25 Tel.03-5632-9530
工場:千葉県内3カ所(佐倉、五井、香取)
- 従業員数** 494名(2017年3月31日現在)

トップメッセージ

当社はすべての製品において、「安全・安心」はもとより、消費者の利用時における容器の使いやすさ、美味しさ、また、テーブルウェアとしてご家庭で飲食時の機能性にもこだわる姿勢を貫いてまいりました。2016年には、より市場性の高い新素材「マイティーガード」の製品開発をいたしました。今後も新たな価値の創造に取り組んでまいります。



代表取締役社長
坂本 剛

CSR方針

当社は消費者に身近な商品を扱っており、「安全・安心」を会社方針としております。また、「法令遵守・人材育成・安全活動・地域活動」にも努めてまいります。

CSR方針に沿った主な活動実績(2016年度)

コミュニケーション



ファベックスへの出展(提案型展示会)



耐油性を高めた容器「ユーガード」シリーズの拡充および「マイティーガード」を発表。食材の影響によって発生する容器割れや加熱時の穴開きが改善された安全性の高い容器として好評を得ました。



佐倉市産業まつり(地域活動)

当社の生産本部と工場がある、佐倉市主催の地域産業展へ参加し、当社製品および企業活動の紹介を行いました。

これからの取り組み

従業員一人ひとりが会社の目的、存在意義、価値観を共有し、環境、職場安全、交通安全、防火・防災、健康診断とメンタルヘルスケアの各活動を通じて、安定した経営をしていくことが大切な責務と考えております。

デンカ生研株式会社



事業所概要

- 工場概要** デンカ生研は、ワクチンと検査試薬の供給を通じて、人々の生命と健康を守ることを使命として企業活動を行っています。創業以来「予防」をキーワードに、感染症や生活習慣病の撲滅に向けた取り組みを続けています。
- 主要製品** インフルエンザワクチン、細菌検査試薬、ウイルス検査試薬、臨床化学検査試薬、免疫血清検査試薬、POCT製品
- 所在地** 本社:東京都中央区日本橋室町2-1-1 Tel.03-6214-3231
工場:新潟県五泉市(新潟工場、鏡田工場)
- 従業員数** 705名(2017年3月31日現在)

トップメッセージ

当社は創立以来、感染症の撲滅に挑戦してまいりました。「予防」という言葉をキーワードとして、各種ワクチンの製造と、幅広い臨床検査試薬の開発、製造を通じ、人命の尊重と健康の向上に貢献することを最大の社会的使命としています。医薬品メーカーとしての重責を念頭に、最新の技術に挑戦し、世の中の変化に対応した特長ある質の高い製品を世界に提供し、さらなる社会への貢献を目指します。



代表取締役社長
綾部 光邦

CSR方針

「いのちを尊び、人々の健康を守ることを使命として、社会から信頼される企業を目指す」という企業理念に基づき、安全でより利便性の高い製品の提供に努めてまいります。また、安全衛生・環境保全に配慮し、地域との共生・健康増進への貢献等に積極的に取り組んでまいります。

CSR方針に沿った主な活動実績(2016年度)

安全



防災訓練

「安全で快適な職場」を目指し、安全衛生活動を展開中です。また、定期防災訓練で緊急時に適切な対応がとれるよう、日ごろから取り組んでいます。

コミュニケーション



地域清掃活動

工場周辺の騒音や臭気等の環境影響に対して細心の注意を払うのはもちろん、地域清掃活動に積極的に参加して、住民の皆さまとのコミュニケーションを図り、信頼される企業を目指します。

これからの取り組み

人々の健康に貢献する企業として、地域で開催されるスポーツ行事・地域行事を積極的に支援しています。女子バスケットボール・トップリーグの「新潟アルビレックスBBラビッツ」に所属する選手2名の契約スポンサーとして活動をサポートするとともに、毎年新潟県五泉市内で開催されるBBラビッツの公式戦や「ごせん紅葉マラソン」「ごせんひやんで花火大会」の主力スポンサーとしても、地域との交流を進めています。



新潟アルビレックスBBラビッツの選手を囲んで

シー・アール・ケイ株式会社



事業所概要

工場概要 当社は1963年に、クロロプレンゴムを原料とするコンパウンドおよび成形品の開発・製造・販売を目的として、デンカと高崎市の地元資本が共同出資して設立されました。長年の研鑽と熟練技術を基盤として、土木・建材用止水材・耐火材等に対象分野を広げ、現在は天然ゴムや合成ゴム全般のコンパウンドと加工製品の製造販売を行っています。

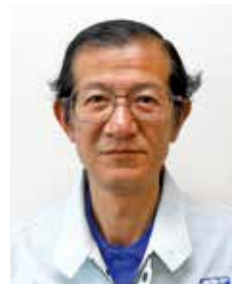
主要製品 各種ゴムコンパウンド、工業用ゴム製品、熱膨張性耐火ゴム製品、ブチル系粘着テープ、水膨張止水テープ

所在地 群馬県高崎市小八木町 306 Tel.027-362-7510

従業員数 62名(2017年3月31日現在)

トップメッセージ

2016年のパリ協定のゴールを聞いて驚いた。21世紀の後半には地球温暖化ガスを発生できない社会になるとは。当社は熱膨張性のゴム系耐火材の製品拡売で、火災時の損失を減らせるよう社会的貢献を図っていきたい。次の新製品開発は、二酸化炭素の発生ゼロを達成できる技術分野も視野に入れて検討したい。



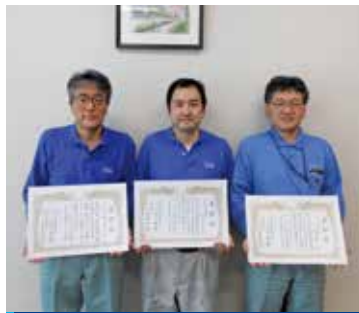
代表取締役社長
長坂 英昭

CSR方針

安全最優先のもと、保安の確保と環境に配慮しつつ、安定した生産と、品質の維持・向上を目指す。お客様だけでなく、地域との共生を図るべく、各部門の業務を遂行していく。

CSR方針に沿った主な活動実績(2016年度)

安全



危険物表彰

2017年5月19日に危険物保安協会より優良事業所並びに優良従業員2名の表彰を受けた。また、2017年度より提案制度の賞金を従来の2倍とし、ヒヤリハット/提案活動の活性化を図っている。

環境



LED化



屋外清掃

2016年度は前年度に続き照明のLED化を推進し、作業環境の改善とともに省エネ化を図った。従来から毎月実施している、全員での屋外除草を安全衛生管理計画に織り込み、場内美化に努めている。

コミュニケーション



バーベキュー大会

地域社会との交流として、工業団地内のボーリング大会、デンカ渋川工場とのソフトボール大会に参加するとともに、社内ではバーベキュー、ゴルフコンペ、納涼会等を開催して従業員同士の懇親を図っている。

これからの取り組み

- ・ **安全**: プレス機に関する法改正への対応では、他事業所との交流も図り、本質安全化に向けた対策を検討する。
- ・ **品質**: 2017年4月より、ISO9001の2015年度版への更新に向けた準備を開始し、来春に更新審査を予定。
- ・ **環境**: 産業廃棄物と事業系一般廃棄物の分別の徹底と、リサイクル率向上とエミッション率の低減を図る。

日之出化学工業株式会社



事業所概要

工場概要 当社は1949年に設立され、翌1950年に世界に先駆けて開発した磷酸質肥料「ようりん」の生産を開始しました。以来日本のトップメーカーとして、品質の向上と新品種の開発、需要開拓に努め、豊かな土づくりを通して農作物の増産に貢献しています。

主要製品 熔成磷肥「ようりん」、^{ようせいけいさんりん}「BMようりん」、^{ようせいけいさんりん} 熔成珪酸磷肥「とれ太郎」、混合肥料、化成肥料

所在地 京都府舞鶴市宇倉谷660 Tel.0773-75-5760

従業員数 39名(2017年3月31日現在)

トップメッセージ

当社は、日本最初の熔成磷肥「ようりん」メーカーとして創業し、今年で68年目を迎えます。土づくり肥料として親しまれる「ようりん」は、現在使用されている磷酸質肥料の中で唯一、当社品が有機農産物適合資材として認定を受け、安全で環境にやさしい肥料として評価を得ています。農業の発展に貢献するため、今後とも新製品開発と技術改善に努力して、次の世代へ技術を継承してまいります。



代表取締役社長
秋元 久雄

CSR方針

《基本方針》肥料の製造を通じて社会に貢献し、従業員の自己実現を目指す

《環境方針》環境マネジメント活動(KESステップ2)を推進して、地球環境との調和を目指す

《安全方針》自分と仲間の安全を確保して考動!

《品質方針》ワンパス収率を意識して工程管理を強化する

CSR方針に沿った主な活動実績(2016年度)

安全



安全衛生教育

日々の事前KYミーティングと、作業者を交えて現地で問題点を話し合うプロジェクト改善活動を主体に、リスク低減活動を推進しています。改善提案を奨励することで、年々活動が充実してきました。

環境



近隣地域での清掃活動

環境マネジメント活動(KES*ステップ2)を主体に、排水系と排ガス系のさらなる技術改善に取り組み、付帯工程の安定性も徐々に向上してきました。50年使用した平炉の東西蓄熱室を更新して、燃焼管理強化との相乗効果で、省エネも図れました。工場近隣の清掃活動も継続しています。

*KES:京都議定書の発祥地、京都が発信する「環境マネジメントシステム」規格。ステップ2は比較的大規模の大きな事業所が取り組む規格で、ISO14001とほぼ同じ項目を実施します。

これからの取り組み

- ・ 当社に関わるすべての方々との連携、協調、コミュニケーションの充実に努めます。
- ・ 将来につながる工場運営を目指して、現状に+αした技術改善と、安全・安定生産に努めます。



事業所概要

工場概要 当社は日本重化学工業の花巻工場として1962年に設立され、翌年よりアヅミンの生産・販売を開始いたしました。2003年の日本重化学工業から電気化学工業への事業譲渡に伴い、腐植酸関連肥料の生産を目的とした「デンカアヅミン株式会社」となりました。今後も、腐植酸肥料のパイオニアとして、農業生産に貢献してまいります。

主要製品 「アヅミン®」(腐植酸苦土肥料)

所在地 岩手県花巻市二枚橋第5地割118 Tel.0198-26-2131

従業員数 24名(2017年3月31日現在)

トップメッセージ

当社は土壌改良資材「アヅミン」を50年余にわたって製造してきました。硝酸、重油等の危険物を大量に取り扱っており、日常のKYTが、安全な生産活動を継続していくための重要なポイントであると考えています。今年度からは、従来のアヅミンに加え、液肥、鶏糞燃焼灰を原料とする化成肥料の本格製造を始めます。新しい装置、原料を取り扱うこととなりますので、より一層安全意識の向上を図り、無事故無災害継続に向けて精進してまいります。



代表取締役社長
中村 守

CSR方針

- ・ 無事故・無災害の継続(当面の目標:1,000日)
- ・ 環境保全管理の遂行
- ・ 地域住民および行政との信頼関係の醸成

CSR方針に沿った主な活動実績(2016年度)

安全



火災訓練の実施

万が一の場合の被害を最小限に食い止めるため、可搬ポンプ取り扱い、放水、消火器による消火訓練を実施しました。



リスクアセスメント活動

講習会や実地教育訓練の実施、記入評価様式の策定を経て、2016年度から本格運用を開始しました。会社が選定した作業、現場作業者が気になる作業等、36件の作業評価改善を実施しました。

コミュニケーション



地区公害防止協議会関係者の来場視察

地元二枚橋町と直町の関係者が来場し、当社の環境対策に関する質疑および視察が行われました。周辺環境に配慮した操業へ評価をいただくとともに、一層の安全操業維持への注力を要請されました。

これからの取り組み

- ・ 無災害継続1000日を目標に日々の作業を行ってまいりましたが、428日目の2016年9月6日に不休災害を発生させてしまいました。対策実施後、改めて目標を1000日とし活動中であります。
- ・ 2016年度末でシニア嘱託作業員全員が退職し、協力会社を含めて経験の浅い作業員が増えていきます。若手社員への安全行動の意識付けと習慣化が、グッドカンパニーへの重要課題と考えており、引き続き教育に注力してまいります。

青海工場

項目	単位	2013年度	14年度	15年度	16年度	17年度(目標)
エネルギー原単位	2012年度比	0.98	0.99	0.97	—	—
	2015年度比	—	—	(1.00)	1.01	1.01
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	84	85	78	79	82
PRTR法対象物質排出量	トン	14	14	14	21	11
NOx排出量	トン	3,394	3,209	3,280	3,311	3,150
SOx排出量	トン	61	45	42	53	47
ばいじん排出量	トン	67	65	81	55	74
水利用量	千m ³	63,084	62,925	58,915	55,427	55,427
COD(BOD)排出量	トン	850	743	561	344	520
産業廃棄物発生量	トン	101,260	93,768	94,004	88,034	94,460
廃棄物最終処分量	トン	69	60	50	44	40

目標は中計値

大牟田工場

項目	単位	2013年度	14年度	15年度	16年度	17年度(目標)
エネルギー原単位	2012年度比	1.06	0.99	0.97	—	—
	2015年度比	—	—	(1.00)	0.99	1.00
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	13	16	14	14	14
PRTR法対象物質排出量*	トン	7	9	8	8	8
NOx排出量	トン	788	786	603	703	767
SOx排出量	トン	1	1	1	1	1
ばいじん排出量	トン	5	6	5	4	5
水利用量	千m ³	1,190	1,205	1,177	1,180	1,180
COD(BOD)排出量	トン	1	2	1	2	3
産業廃棄物発生量	トン	8,680	12,903	13,470	9,875	8,459
廃棄物最終処分量	トン	72	25	17	10	17

※九州プラスチック工業株式会社を含む 目標は中計値

千葉工場

項目	単位	2013年度	14年度	15年度	16年度	17年度(目標)
エネルギー原単位	2012年度比	0.96	0.91	0.85	—	—
	2015年度比	—	—	(1.00)	0.94	0.86
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	33	27	25	22	25
PRTR法対象物質排出量	トン	66	51	49	50	48
NOx排出量	トン	263	245	252	160	144
SOx排出量	トン	20	16	8	7	7
ばいじん排出量	トン	1	1	1	1	1
水利用量	千m ³	3,970	3,457	3,908	3,448	4,080
COD(BOD)排出量	トン	10	12	13	8	12
産業廃棄物発生量	トン	12,856	11,719	11,960	10,258	10,325
廃棄物最終処分量	トン	52	55	71	62	56

目標は中計値

渋川工場

項目	単位	2013年度	14年度	15年度	16年度	17年度(目標)
エネルギー原単位	2012年度比	1.11	1.12	1.14	—	—
	2015年度比	—	—	(1.00)	0.81	0.76
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	0.7	0.8	0.9	0.9	1.0
PRTR法対象物質排出量	トン	3	4	4	4	6
NOx排出量	トン	11	11	13	16	12
SOx排出量	トン	2	3	4	5	5
ばいじん排出量	トン	0	0	0	0	0
水利用量	千m ³	2,399	2,294	2,089	2,328	2,300
COD(BOD)排出量	トン	4	3	3	3	3
産業廃棄物発生量	トン	382	384	442	591	645
廃棄物最終処分量	トン	1	2	1	1	2

目標は中計値

大船工場

項目	単位	2013年度	14年度	15年度	16年度	17年度(目標)
エネルギー原単位	2012年度比	1.05	0.96	0.90	—	—
	2015年度比	—	—	(1.00)	1.05	0.95
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	0.7	0.8	0.8	0.7	0.9
PRTR法対象物質排出量	トン	1	1	1	1	1
NOx排出量	トン	2	1	2	2	1
SOx排出量	トン	0	0	0	0	0
ばいじん排出量	トン	0	0	0	0	0
水利用量	千m ³	46	42	59	33	33
COD(BOD)排出量	トン	0	0	0	0	0
産業廃棄物発生量	トン	167	137	147	384	145
廃棄物最終処分量	トン	16	14	14	2	8

目標は中計値

伊勢崎工場

項目	単位	2013年度	14年度	15年度	16年度	17年度(目標)
エネルギー原単位	2012年度比	1.12	1.09	1.04	—	—
	2015年度比	—	—	(1.00)	0.91	1.04
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	1.7	2.2	2.0	2.0	2.6
PRTR法対象物質排出量	トン	0	0	0	0	0
NOx排出量	トン	0	0	0	0	0
SOx排出量	トン	0	0	0	0	0
ばいじん排出量	トン	0	0	0	0	0
水利用量	千m ³	427	433	390	354	445
COD(BOD)排出量	トン	0	0	0	0	0
産業廃棄物発生量	トン	145	171	155	402	163
廃棄物最終処分量	トン	0	0	0	0	0

目標は中計値

デンカイノベーションセンター

項目	単位	2013年度	14年度	15年度	16年度	17年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2
PRTR法対象物質排出量	—	0	0	0	0	0
NOx排出量	トン	0	0	0	0	0
SOx排出量	トン	0	0	0	0	0
ばいじん排出量	トン	0	0	0	0	0
水利用量	千m ³	8	7	6	6	7
COD(BOD)排出量	トン	0	0	0	0	0
産業廃棄物発生量	トン	101	118	108	105	115
廃棄物最終処分量	トン	0	0	0	0	0

目標は中計値

メルパウ工場(デンカシンガポール プライベートリミテッド)

項目	単位	2013年度	14年度	15年度	16年度	17年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4
PRTR法対象物質排出量	—	—	—	—	—	—
NOx排出量	トン	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
SOx排出量	トン	0	0	0	0	0
ばいじん排出量	トン	0	0	0	0	0
水利用量	千m ³	58	46	47	58	50
COD(BOD)排出量	トン	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
産業廃棄物発生量	トン	336	315	361	286	350
廃棄物最終処分量	トン	0	0	0	0	0

セラヤ工場(デンカシンガポール プライベートリミテッド)

項目	単位	2013年度	14年度	15年度	16年度	17年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	3.0	4.6	4.6	4.4	3.6
PRTR法対象物質排出量	—	—	—	—	—	—
NOx排出量	トン	4.6	4.6	4.9	4.6	5.0
SOx排出量	トン	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
ばいじん排出量	トン	0	0	0	0	0
水利用量	千m ³	138	174	217	197	220
COD(BOD)排出量	トン	3.2	3.5	3.7	2.9	3.5
産業廃棄物発生量	トン	1,773	1,445	1,588	1,613	1,700
廃棄物最終処分量	トン	6	13	12	30	30

トラス工場(デンカアドバンテック プライベートリミテッド)

項目	単位	2013年度	14年度	15年度	16年度	17年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	2.5	1.9	1.7	1.8	2.1
PRTR法対象物質排出量	—	—	—	—	—	—
NOx排出量	トン	501	590	530	581	665
SOx排出量	トン	0	0	0	0	0
ばいじん排出量	トン	0	0	0	0	0
水利用量	千m ³	97	83	73	80	90
COD(BOD)排出量	トン	0	0	0	0	0
産業廃棄物発生量	トン	381	306	199	190	213
廃棄物最終処分量	トン	381	306	199	163	200

サウス工場(デンカアドバンテック プライベートリミテッド)

項目	単位	2013年度	14年度	15年度	16年度	17年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	0.2	0.4	0.4	0.4	0.3
PRTR法対象物質排出量	—	—	—	—	—	—
NOx排出量	トン	0.6	1.4	1.5	1.4	1.2
SOx排出量	トン	0	0	0	0	0
ばいじん排出量	トン	0	0.1	0.1	0.1	0.1
水利用量	千m ³	5	10	18	14	12
COD(BOD)排出量	トン	0	0	0	0	0
産業廃棄物発生量	トン	140	288	276	337	286
廃棄物最終処分量	トン	11	21	19	31	27

電化精細材料(蘇州)有限公司

項目	単位	2013年度	14年度	15年度	16年度	17年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	0.05	0.08	0.10	0.09	0.09
PRTR法対象物質排出量	—	—	—	—	—	—
NOx排出量	トン	0	0	0	0	0
SOx排出量	トン	0	0	0	0	0
ばいじん排出量	トン	0	0	0	0	0
水利用量	千m ³	1.8	1.8	2.0	1.7	1.6
COD(BOD)排出量	トン	0	0	0.5	0.1	0.1
産業廃棄物発生量	トン	0	0.2	0.2	0.2	0.8
廃棄物最終処分量	トン	0	0	0	0	0.1

電化新材料研究(蘇州)有限公司

項目	単位	2013年度	14年度	15年度	16年度	17年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	0.02	0.01	0.02	0.03	0.03
PRTR法対象物質排出量	—	—	—	—	—	—
NOx排出量	トン	0	0	0	0	0
SOx排出量	トン	0	0	0	0	0
ばいじん排出量	トン	0	0	0	0	0
水利用量	千m ³	0.9	0.4	0.5	1.0	1.0
COD(BOD)排出量	トン	0	0	0	0	0
産業廃棄物発生量	トン	20	23	12	17	16
廃棄物最終処分量	トン	0.03	0	0	0	0.00

電化無機材料(天津)有限公司

項目	単位	2013年度	14年度	15年度	16年度	17年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	—	0.01	0.01	0.01	0.02
PRTR法対象物質排出量	—	—	—	—	—	—
NOx排出量	トン	—	0.1	0	0.1	0
SOx排出量	トン	—	0	0	0	0
ばいじん排出量	トン	—	0	0	0	0.1
水利用量	千m ³	—	0.4	0.7	0.6	0.6
COD(BOD)排出量	トン	—	0	0	0	0
産業廃棄物発生量	トン	—	8	42	13	39
廃棄物最終処分量	トン	—	8	42	13	39

電化電子材料(大連)有限公司

項目	単位	2013年度	14年度	15年度	16年度	17年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	—	—	0.04	0.05	0.05
PRTR法対象物質排出量	—	—	—	—	—	—
NOx排出量	トン	—	—	0	0	0
SOx排出量	トン	—	—	0	0	0
ばいじん排出量	トン	—	—	0	0	0
水利用量	千m ³	—	—	0.1	0.3	0.3
COD(BOD)排出量	トン	—	—	0	0	0
産業廃棄物発生量	トン	—	—	0.8	3.3	4
廃棄物最終処分量	トン	—	—	0.04	0.10	18

デンカポリマー株式会社

項目	単位	2013年度	14年度	15年度	16年度	17年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	1.2	1.2	1.1	1.0	1.1
PRTR法対象物質排出量	—	0	0	0	0	0
NOx排出量	トン	0	0	0	0	0
SOx排出量	トン	0	0	0	0	0
ばいじん排出量	トン	0	0	0	0	0
水利用量	千m ³	10	30	28	29	29
COD(BOD)排出量	トン	0	0	0	0	0
産業廃棄物発生量	トン	113	146	139	121	115
廃棄物最終処分量	トン	0	0	0	0	0

デンカ生研株式会社

項目	単位	2013年度	14年度	15年度	16年度	17年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	1.5	1.6	1.7	1.8	1.8
PRTR法対象物質排出量	—	0	0	0	0	0
NOx排出量	トン	3	4	4	5	5
SOx排出量	トン	3	2	1	1	1
ばいじん排出量	トン	0	0	0	0	0
水利用量	千m ³	440	702	269	287	287
COD(BOD)排出量	トン	0	0	0	0	0
産業廃棄物発生量	トン	275	935	967	943	943
廃棄物最終処分量	トン	42	48	70	67	67

シー・アール・ケイ株式会社

項目	単位	2013年度	14年度	15年度	16年度	17年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
PRTR法対象物質排出量	—	0	0	0	0	0
NOx排出量	トン	0	0	0	0	0
SOx排出量	トン	0	0	0	0	0
ばいじん排出量	トン	0	0	0	0	0
水利用量	千m ³	75	74	74	73	73
COD(BOD)排出量	トン	0	0	0	0	0
産業廃棄物発生量	トン	84	80	60	61	61
廃棄物最終処分量	トン	37	30	19	19	19

日之出化学工業株式会社

項目	単位	2013年度	14年度	15年度	16年度	17年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	2.4	2.2	2.0	2.0	1.8
PRTR法対象物質排出量	—	5	4	3	4	3
NOx排出量	トン	190	208	141	142	135
SOx排出量	トン	118	101	74	72	70
ばいじん排出量	トン	10	7	6	12	6
水利用量	千m ³	1,878	1,333	1,330	1,335	1,327
COD(BOD)排出量	トン	2	2	3	2	2
産業廃棄物発生量	トン	244	54	38	37	37
廃棄物最終処分量	トン	184	4	3	3	3

デンカアツミン株式会社

項目	単位	2013年度	14年度	15年度	16年度	17年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	0.5	0.6	0.5	0.5	0.6
PRTR法対象物質排出量	—	0	0	0	0	0
NOx排出量	トン	29	26	21	21	22
SOx排出量	トン	2	1	1	1	1
ばいじん排出量	トン	5	4	3	3	3
水利用量	千m ³	596	603	602	601	601
COD(BOD)排出量	トン	4	2	2	2	2
産業廃棄物発生量	トン	52	49	54	49	49
廃棄物最終処分量	トン	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3

環境パフォーマンス

デンカアドバンスドマテリアルズ ベトナム カンパニーリミテッド

項目	単位	2013年度	14年度	15年度	16年度	17年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	—	—	0.11	0.19	0.25
PRTR法対象物質排出量	—	—	—	—	—	—
NO _x 排出量	トン	—	—	0	0	0
SO _x 排出量	トン	—	—	0	0	0
ばいじん排出量	トン	—	—	0	0	0
水利用量	千m ³	—	—	11	15	27
COD(BOD)排出量	トン	—	—	0	0	0
産業廃棄物発生量	トン	—	—	110	110	275
廃棄物最終処分量	トン	—	—	13	76	40